

## 重要なお知らせ；ソフトウェアに起因する現象のご連絡

### FC6A形 MICROSmart

FC6A形 MICROSmart において、以下8件の現象を確認いたしました。対象製品をご使用のお客様は以下に記載している内容をご確認の上、ご対策くださいますようお願いいたします。**※赤文字箇所修正(2020年1月22日)**

#### 現象一覧

No.	現象	現象修正バージョン	リリース日
1	データファイルマネージャーからイーサネット経由でSDメモリカード内のファイルをアップロードした場合、通信エラーが起きる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC6A形 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.10</li> </ul>	2019年 12月末
2	SDメモリカードからシステムソフトウェアとユーザープログラムを同時にダウンロードする場合、autoexec.ini ファイルで auto_start キーを true に設定しても RUN しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC6A形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.10</li> </ul>	
3	CPUモジュールの動作中に、ワンタイムアップロードを有効にしたSDメモリカードを挿入しても、ZLDファイルをアップロードできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC6A形 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.10</li> </ul>	2019年 12月末
4	BCCを定義したERXD命令で、受信したデータのBCCが80h以上の場合、BCCエラーが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC6A形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.10</li> <li>FC6A形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.50</li> </ul>	

No.	現象	現象修正バージョン	リリース日
5	電池未挿入状態で電源を投入し、4秒以内(エラー表示LEDが点灯する前)に電源を切った場合、電池を挿入して電源を再投入しても、PLCが起動せずUSB接続できなくなるときがある。	• FC6A形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.50	2019年 12月末
6	ユーザーWebページのファイル名をindex.htmlとし、ブラウザからアクセスすると、「404 Not Found」が表示される。		
7	イーサネットポート1とイーサネットポート2に同じIPアドレスを設定すると、イーサネットポート2とコネクションが確立できない場合がある。		
8	SNTP設定の自動取得方法を電源ON時に設定しても、日付と時刻を取得できない場合がある。		

## 対策方法

Automation Organizer Ver.3.17.0に同梱される以下バージョンのソフトウェアで対応しております。

- |   |                     |
|---|---------------------|
| <input type="checkbox"/> FC6A形 All-in-One CPU モジュール           | システムソフトウェア Ver.2.10 |
| <input type="checkbox"/> FC6A形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール | システムソフトウェア Ver.2.10 |
| <input type="checkbox"/> FC6A形 Plus CPU モジュール                 | システムソフトウェア Ver.1.50 |

弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」より上記のバージョンまたはそれ以降のバージョンのインストーラ(「10\_Automation Organizer アップデート版インストーラ」)をダウンロードし、インストールしてソフトウェアをアップグレードしてください。

<http://www.idec.com/jpia/ao/>

## システムソフトウェアのバージョン確認手順

FC6A 形 CPU モジュールに内蔵されているシステムソフトウェアのバージョンは、WindLDR の PLC ステータス画面（図 1 参照）でご確認いただけます。PLC ステータス画面は、パソコンと FC6A 形 CPU モジュールを接続し、WindLDR の [オンライン] タブの [モニタ] で [モニタ] をクリックして、[PLC 本体] の [ステータス] をクリックすると表示されます。

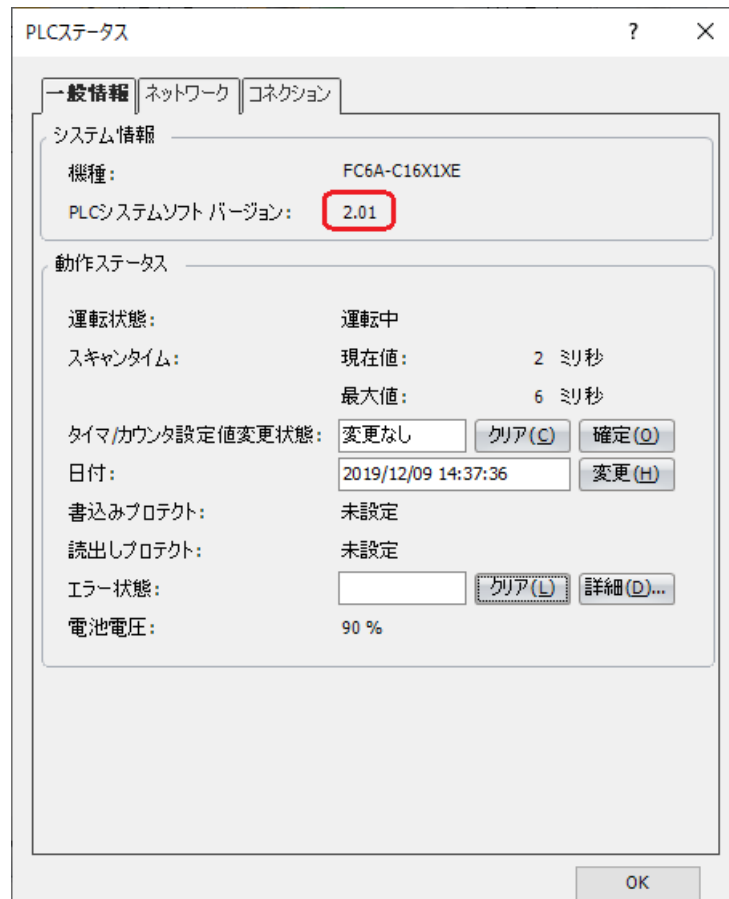


図 1 PLC ステータス画面

## 現象 1

### 【対象製品】

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver.1.80～Ver.2.01
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver.1.80～Ver.2.01  
(Automation Organizer Ver.3.13.0～Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.10.0～Ver.8.12.2)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C16\*1\*E、FC6A-C24\*1\*E、FC6A-C40\*1\*E
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C40\*1\*EJ

### 【現象】

ラダースキャンが 10ms を超えるようなラダープログラムを実行 (RUN) 中に、データファイルマネージャーを使ってイーサネット通信でファイルやフォルダをアップロードしようとする、通信エラーが発生しアップロードできない場合があります。

### 【暫定的な回避方法】

USB 通信でデータファイルマネージャーを使用してください。

## 現象2

### 【対象製品】

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02～Ver.2.01
  - FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02～Ver.2.01  
(Automation Organizer Ver.3.10～Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.0.0～Ver.8.12.2)
- 製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのシステムソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C16\*1\*E、FC6A-C24\*1\*E、FC6A-C40\*1\*E
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C40\*1\*EJ

### 【現象】

SD メモリカード内の autoexec.ini ファイルで auto\_start キーを true に設定（※1、※2）し、システムソフトウェアを含んだ ZLD ファイルを SD メモリカードからダウンロードした場合、ダウンロードが完了しても PLC が RUN しません。

※1. WindLDR を使って auto\_start キーを true に設定する方法

下記の手順で autoexec.ini ファイルを作成してください（図2参照）

- STEP 1. WindLDR の設定タブから、SD カードの「設定」を選択してください。
- STEP 2. 「動作指定用 INI ファイル」を選択してください。
- STEP 3. 動作は「ダウンロード」を選択してください。
- STEP 4. 「ダウンロード後、自動的に PLC を RUN スタートする」を選択してください。
- STEP 5. ZLD ファイルの名前を「ファイル名」へ入力し、出力するフォルダを選択してください。

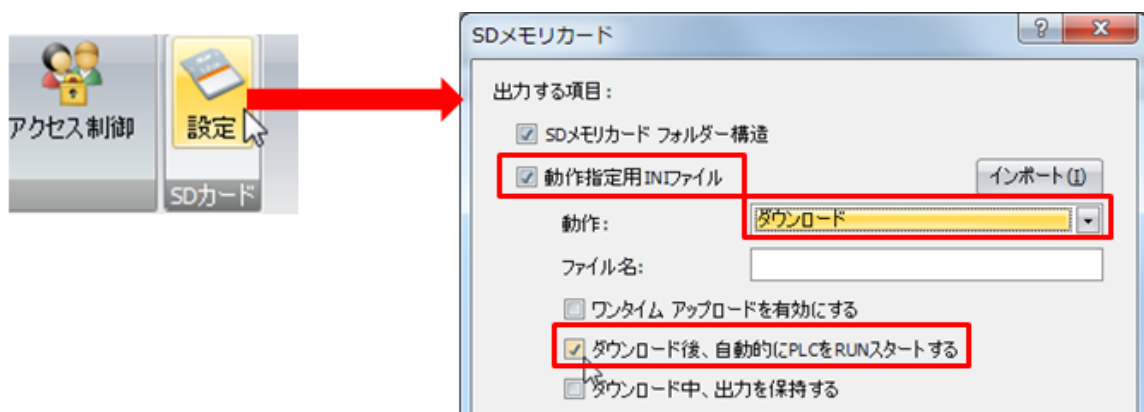


図2 WindLDR 設定

※2. autoexec.ini を直接編集して auto\_start キーを true に設定する方法

SD メモリカード内の FCDATA01 フォルダ下にある autoexec.ini ファイルを開き、auto\_start キーを false から true へ更新してください（図3参照）。

```
[COMMON_SETTING]
loading_direction=download
[PROGRAM_DOWNLOAD]
src_file="download.zld"
onetime_upload=false
auto_start=true
keep_output=false
clear_data=false
clear_error=false
```

図3 autoexec.ini ファイル編集結果

#### 【暫定的な回避方法】

下記いずれかの方法で、現象を回避してください。

回避方法1. システムソフトウェアを WindLDR でダウンロードしてください。

回避方法2. ファンクション設定の「起動時のRUN/STOP 指定」を「RUN(M8000 を ON する)」に設定（図4参照）したユーザープログラムを、システムソフトウェアと一緒に ZLD ファイルに含めて、SD メモリカードからダウンロードしてください。



図4 起動時のRUN/STOP 指定

### 現象3

#### 【対象製品】

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02~Ver.2.01
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02~Ver.2.01  
(Automation Organizer Ver.3.10~Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.0.0~Ver.8.12.2)
- FC6A 形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.00~Ver.1.40  
(Automation Organizer Ver.3.90~Ver.3.16.2/ WindLDR Ver8.6.1~Ver8.12.2)  
製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C16\*1\*E、FC6A-C24\*1\*E、FC6A-C40\*1\*E
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C40\*1\*EJ
- FC6A 形 Plus CPU モジュール  
FC6A-D16\*1CEE、FC6A-D32\*3CEE

#### 【現象】

CPU モジュールの電源を入れた状態で、以下の全ての条件に合致する SD メモリカードを挿入しても、ユーザープログラムが ZLD ファイルとしてアップロードされません。

現象が発生する SD メモリカードの条件：

- ワンタイムアップロードを実行する autoexec.ini ファイルが保存されている。
- autoexec.ini で指定された ZLD ファイルが無い。

#### 【暫定的な回避方法】

現象が発生する SD メモリカードを挿入した状態で、電源を入れ直してください。

## 現象4

### 【対象製品】

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02～Ver.2.01
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02～Ver.2.01  
(Automation Organizer Ver.3.10～Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.0.0～Ver.8.12.2)
  
- FC6A 形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.00～Ver.1.40  
(Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.12.2)  
製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C16\*1\*E、FC6A-C24\*1\*E、FC6A-C40\*1\*E
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール  
FC6A-C40\*1\*EJ
- FC6A 形 Plus CPU モジュール  
FC6A-D16\*1\*CEE、FC6A-D32\*3\*CEE

### 【現象】

ERXD 命令で受信するデータに BCC を設定したとき、BCC が 80h 以上 (※) のデータを受信すると、誤って BCC エラーと判定します。

※ BCC の桁数 (1 または 2 桁) に関わらず、BCC のデータが 1 桁でも 80h (128) 以上の場合、本現象が発生します。



**【暫定的な回避方法】**

ERXD 命令の設定で、BCC に相当するデータをスキップしてください（図5参照）。

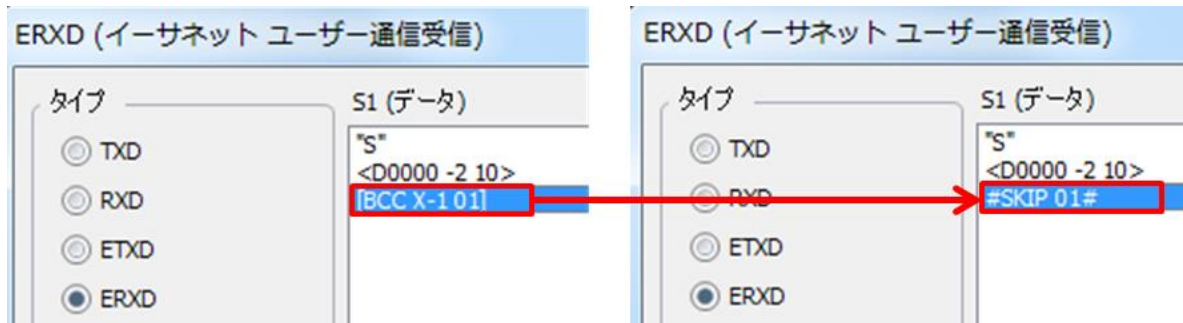


図5 ERXD 命令のスキップ設定

## 現象5

### 【対象製品】

- FC6A 形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.00～Ver.1.40  
(Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.12.2)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 Plus CPU モジュール  
FC6A-D16\*1CEE、FC6A-D32\*3CEE

### 【現象】

バックアップ用電池が挿入されていない状態（または空の状態）で CPU モジュールの電源を投入し、すぐに（エラー表示 LED が点灯するまでの 4 秒間の間に）電源を切ります。その後、新しいバックアップ用電池を取り付けた状態で再度 CPU モジュールの電源を再投入すると、CPU モジュールが起動せず USB 通信できないことがあります。

現象が発生した場合、以降は CPU モジュールの電源を入れ直しても、USB 通信できません。この場合は、以下の手順を行ってください。

- STEP1. バックアップ用電池を抜いた状態で、電源を入れてください。
- STEP2. エラー表示 LED が点灯するまで（5 秒以上）待ってから電源を切ってください。
- STEP3. バックアップ用電池を取り付けて、電源を入れてください。

### 【暫定的な回避方法】

バックアップ用電池が挿入されていない状態（または空の状態）で CPU モジュールの電源を入れた場合は、エラー表示 LED が点灯するまで（5 秒以上）待ってから CPU モジュールの電源を切ってください。

## 現象6

### 【対象製品】

- FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.1.00～Ver.1.40  
 (Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.12.2)  
 製品形番：SW1A-W1C  
 ※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 Plus CPU モジュール  
 FC6A-D16\*1CEE、FC6A-D32\*3CEE

### 【現象】

ユーザーWeb ページのファイル名を「index.html」とし、CPU モジュールへダウンロードすると、ブラウザから「index.html」へアクセスしてもエラーとなり、エラーメッセージ「404 Not Found」が表示されます。



図6 index.html

### 【暫定的な回避方法】

「index.html」とは異なるファイル名に変更して、インポートしてください。または、Web サーバー設定のリダイレクトターゲットに名前を変更したファイルを指定して、ダウンロードしてください。

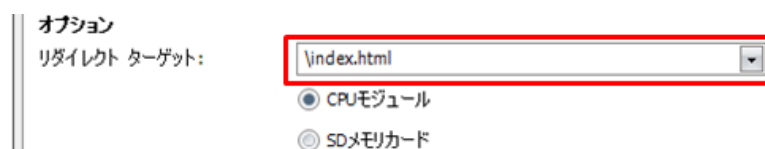


図7 リダイレクトターゲット

## 現象7

### 【対象製品】

- FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.1.00~Ver.1.40  
(Automation Organizer Ver.3.90~Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.6.1~Ver.8.12.2)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 Plus CPU モジュール  
FC6A-D16\*1CEE、FC6A-D32\*3CEE

### 【現象】

以下の全ての条件に合致する設定をしたユーザープログラムを CPU モジュールへダウンロードした場合、イーサネットポート2と接続が張れません。

現象が発生する設定：

- ネットワーク設定で、イーサネットポート1とイーサネットポート2を同じIPアドレスとする。
- コネクション設定で、イーサネットポート1に割り当てたコネクションと、イーサネットポート2に割り当てたコネクションへ、同じローカルホストポート番号 (ex. 2101) を設定する。

### 【暫定的な回避方法】

下記いずれかの方法で、現象を回避してください。

回避方法 1. ネットワーク設定で、イーサネットポート1とイーサネットポート2へ異なるIPアドレスを設定してください。

回避方法 2. コネクション設定で、イーサネットポート1に割り当てたコネクションと、イーサネットポート2に割り当てたコネクションへ、異なるローカルホストポート番号を設定してください。

## 現象8

### 【対象製品】

- FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.1.00~Ver.1.40  
 (Automation Organizer Ver.3.90~Ver.3.16.2/ WindLDR Ver.8.6.1~Ver.8.12.2)  
 製品形番：SW1A-W1C  
 ※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 Plus CPU モジュール  
 FC6A-D16\*1CEE、FC6A-D32\*3CEE

### 【現象】

イーサネットポート 1 の SNTP 設定で「自動取得」と「電源 ON 時」を有効（図 8 参照）に設定しても、CPU モジュールの電源を入れた時に、時刻データの取得・更新ができない場合があります。



The screenshot shows the 'SNTP設定' (SNTP Settings) window. The 'SNTPサーバーから現在の日付と時刻を取得する' (Acquire current date and time from SNTP server) checkbox is checked. Under 'SNTPサーバー' (SNTP Server), 'IPアドレス' (IP Address) is set to '210.173.160.57'. 'SNTPサーバーポート' (SNTP Server Port) is set to '123'. 'タイムゾーン' (Time Zone) is set to 'GMT+00:00'. The '自動取得' (Automatic acquisition) checkbox is checked and highlighted with a red box. The '周期' (Cycle) is set to '30日毎' (Every 30 days). The '電源 ON 時' (Power ON) checkbox is checked and highlighted with a red box.

図 8 SNTP 設定画面

### 【暫定的な回避方法】

SNTP 取得フラグ (M8191) を OFF から ON にすることで、時刻データを取得してください。

以上